



インドネシアでの駐在生活について

北陸銀行 国際部
 バンクネガラインドネシア駐在
 山下 直人

1. はじめに

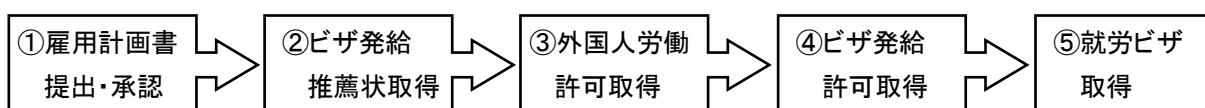
日本国内での業容拡大に限界を感じ、成長が期待できる新興国に拠点を設けて営業活動をしている会社が年々増えています。

私は、今年の2月からインドネシア国営銀行のバンクネガラインドネシア(以下、BNI)に出向しています。この5ヶ月間、駐在員としてインドネシアで体験したことや感じたことをいくつかご紹介します。

2. 就労ビザの取得について

インドネシア駐在にあたり、私は就労ビザを取得後に入国したのですが、最近ではインドネシア人雇用を増やすため、就労ビザ取得に時間を要するようになっていきます。

就労ビザ取得までの大きな流れは、以下の通りです。



手続きについては、現地のエージェントに依頼するのが一般的で、私の場合も出向先のBNIがエージェントに依頼し手続きしていましたが、ビザ発給推薦状取得に必要な履歴書や卒業証明書を送付してからビザの取得までに2ヶ月程度かかり、赴任の時期が1ヵ月ほど遅れる結果となりました。

2018年7月以降は、外国人就労手続き簡素化を図るため、上記ビザ取得プロセスのうち「③外国人労働許可」の廃止が決定していましたが、労働組合の反発が大きいことから実施されない可能性も出ています。

3. BNI口座作成について

BNIに着任後、まずは自分の個人預金口座を作成しました。口座作成の際には、以下に記載の書類を持参すれば簡単に作成できます。赴任直後で滞在許可取得手続き中の場合には、パスポートのみで口座作成に応じてくれることもあり、私もパスポートだけで口座作成ができました。クレジットカード作成の場合には、滞在許可・納税者番号は必須となりますが、所得証明については国内の収入等も合算できるため、現地の収入がない方でも問題ありません。

【BNI口座作成の手続に必要な書類】

口座作成	クレジットカード作成
<ul style="list-style-type: none">・パスポート・KITAS(滞在許可)・NPWP(納税者番号)	<ul style="list-style-type: none">・パスポート・KITAS(滞在許可)・NPWP(納税者番号)・所得証明書・勤務先の保証書

預金口座作成の際には、インターネットバンキングの作成もセットで行われますが、預金残高確認や振込はもちろん、電話料金やインターネット料金等の各種料金支払メニューもあり大変便利です。

BNIの支店では日本語対応できるスタッフはおりませんので、もしインドネシアで口座を作成される際にはBNIジャパンデスクまでご連絡いただければと思います。

4. インドネシアの生活環境について

インドネシアの街並みを見てみると、富裕層や外国人駐在員向けの商業施設やマンションが充実している一方、すぐそばでは昔ながらの古い平屋や屋台が並んでおり、経済格差がはっきりしています。

首都のジャカルタは、めざましい発展を遂げており、駐在員の生活環境は確実に良くなっています。現地ではショッピングモールが充実しており、生活用品等は一通り揃う他、日本食レストランも多く不自由を感じることなく生活できます。

5. インドネシアの交通渋滞

私の業務はお取引先訪問が主ですが、最もネックになっているのが交通渋滞です。特に最近では、道路や鉄道の工事が頻繁に行われていることから渋滞は激しさを増しており、酷い時には5km先の取引先まで1時間程度は覚悟しなければなりません。

政府はこうした交通渋滞を緩和しようと、目抜き通りや高速道路で、自動車ナンバーの奇数・偶数による交通制限をかけています。今後は、ナンバーによる交通制限の対象路線が拡大される予定ですので、移動の際には渋滞状況や交通制限を勘案し時間に余裕をもった行動が必要です。

渋滞中には、車の間を歩いて飲食物や雑貨を販売している若者や、チップ目当てで交通整理をしている人の姿が毎日のように見られます。日本に住んでいると渋滞はあるものの、公共交通機関が発達しており、交通インフラに関する不満を感じることはありませんでしたが、インドネシアでは道路や公共交通機関に対しての不満は尽きません。

6. おわりに

インドネシアは、世界第4位の人口と東南アジア最大のGDPを持つ大国ですが、国内を走る車の9割超が日本車であったり、インドネシアにとって日本は第2位の投資国であったりと、日本とのつながりがとても強い国です。今年は日尼国交樹立60周年を迎える上、夏にはインドネシアでアジア競技大会が開催されるため、日本国内でもインドネシアに関するニュースを耳にする機会が多いのではないのでしょうか。私もインドネシア駐在という貴重な機会を与えられた立場から、インドネシアに対して少しでも多くの方が興味を持って頂けるような活動をしていきたいと思えます。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

長城メール

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局

〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F

((株)人材情報センター内)

TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565

E-mail: info@chojo-hokugin.jp